

第141回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成19年12月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	10,115	-0.33	0.10	4,098	0.86	0.24
東部地区	14,297	-0.55	-0.15	5,547	0.79	-0.17
西部地区	10,784	-0.07	-0.08	3,961	2.40	0.02
駅南地区	6,425	0.62	-0.26	2,639	2.08	-0.26
半田地区	3,550	1.48	-0.25	1,294	3.60	-0.38
横山地区	5,686	-0.17	-0.28	1,851	0.76	-0.26
茨目・田尻地区	6,900	-0.90	0.05	2,298	-0.86	0.17
荒浜地区	5,254	-1.09	0.13	2,019	0.44	0.09
その他地区	21,596	-1.93	-0.12	7,190	-0.90	0.00
西山町地区	6,515	-1.85	-0.21	2,150	-0.78	-0.04
高柳町地区	2,059	-4.14	-0.14	851	-1.50	0.00
柏崎市計	93,181	-0.85	-0.10	33,898	0.52	-0.03
刈羽村	4,981	-0.47	0.08	1,520	0.99	0.19
小国地区（長岡市）	6,606	-1.56	-0.30	2,149	0.23	-0.23
出雲崎町	5,373	-1.15	-0.11	1,831	0.32	-0.10
合計	110,141	-0.89	-0.10	39,398	0.52	-0.03

（資料出所：柏崎市、各町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続き全ての市町村・地区で減少しており、柏崎市が799人、0.85％、刈羽村が24人、0.47％、小国地区（長岡市）が105人、1.56％、出雲崎町が63人、1.15％とそれぞれ減少し、全体では991人、0.89％の減少となっている。

また、前月比においても、刈羽村が4人、0.08％と増加したが、柏崎市が96人、0.10％、小国町が20人、0.30％、出雲崎町が6人、0.11％と減少したことから、全体では118人、0.10％の減少となった。

一方、世帯数は、前年同月比で柏崎市が178世帯、0.52％、刈羽村が15世帯、0.99％、小国町が5世帯、0.23％、出雲崎町が6世帯、0.32％と増加し、全体では204世帯、0.52％の増加となっている。

また、前月比においては、刈羽村が3世帯、0.19％と増加したものの、柏崎市が11世帯、0.03％、小国町が5世帯、0.23％、出雲崎町が2世帯、0.10％と減少した結果、全体では15世帯、0.03％の減少となった。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,301		5.08		4.66	
月間有効求職者	933		-12.47		-11.14	
月間有効求人倍率	1.39	0.98	0.23*	-0.12*	0.21*	-0.03*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを除く常用）では、月間有効求人数が1,301人と前年同月比で63人、5.08％の増加、前月比でも58人、4.66％と増加している。

一方、月間有効求職者数は933人と前年同月比で133人、12.47％、前月比でも117人、11.14％と共に大幅な減少となっている。

以上の結果、月間有効求人倍率は1.39倍と前年同月比で0.23ポイント上回り、前月比でも0.21ポイント上回っており、県平均0.98倍に対しては0.41ポイントも上回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを除く常用）は、月間新規求人数が470人と前年同月比で35人、6.93％の減少、月間新規求職者数は176人と前年同月比で84人、32.31％と大幅に減少した結果、月間新規求人倍率は2.67倍となり、前年同月1.94倍を0.73ポイントと大幅に上回った。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成19年12月の累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅 (併 用)	66	43	-37	421	116
共 同 住 宅	1	0	-2	11	-1
事 務 所	1	0	-1	8	2
作 業 所 ・ 工 場	0	-2	-3	19	-3
営 業 建 物	2	1	-1	19	-4
公 共 建 物	0	-1	0	1	-6
そ の 他	11	7	-2	90	-11
合 計	81	48	-46	569	93

(資料出所： 柏崎市)

建築確認申請の状況は、引き続き「中越沖地震」の復旧による影響から申請合計が81件と前年同月比で48件の大幅な増加となったが、前月比では46件の減少となっている。工種別内訳の主な増減を見ると、一般住宅（併用）が前年同月比で43件の大幅な増加となったものの、前月比では37件と大幅に減少している。

なお、工種全体の申請内容は、新築が35件、増築が19件、改築が27件となっており、一般住宅（併用）における市内・市外施工業者別確認件数は、市内施工業者が34件（うち新築16件、増築7件、改築11件）、市外施工業者が32件（うち新築12件、増築8件、改築12件）となった。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,486	1.16	0.14	20,243	-0.54	10.21
電 力	11,914	-5.43	0.94	46,343	-3.67	2.04

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で757口、1.16%の増加、前月比でも96口、0.14%の増加となった。一方、電力では前年同月比で685口、5.43%の減少となったものの、前月比では111口、0.94%と増加している。

使用量においては、電灯が前年同月比で110kwh、0.54%の減少となったが、前月比では1,877kwh、10.21%と大幅に増加している。一方、電力においても前年同月比で1,766kwh、3.67%の減少、前月比では928kwh、2.04%の増加となっている。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	1,458,632	-5.03	36.77	683,895	-1.76	-4.40
営 業 用	264,475	4.93	47.28	126,962	6.11	-2.04
工 場 用	653,271	25.22	37.72	135,188	-5.95	-4.71
官 公 学 校 用	558,850	3.55	56.75	79,566	-2.57	-4.98
そ の 他				62	-64.57	-108.49
合 計	2,935,228	3.01	41.33	1,025,673	-1.51	-4.13

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途全体では前年同月比で85,823m³、3.01%の増加、前月比では858,375m³、41.33%の大幅な増加となった。用途別内訳を見ると、前年同月比では工場用が大幅に増加し、前月比では全ての用途において大幅に増加している。

一方、水道給水量は前年同月比で15,733m³、1.51%の減少、前月比でも44,265m³、4.13%と減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比では営業用を除く全ての用途で減少し、前月比では全ての用途で減少となっている。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	80,819	8.02	-7.35	85,103	9.42	-5.69
西 山	47,908	28.19	-10.33	42,938	28.33	-11.55
米 山	20,838	10.98	-12.87	19,432	11.39	-13.58
合 計	149,565	14.20	-9.12	147,473	14.60	-8.55

(資料出所：道路公団金沢管理局上越管理事務所)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で18,601台、14.20%の大幅な増加となったものの、前月比では15,015台、9.12%の減少となっている。

一方、出口においても、全体では前年同月比で18,797台、14.60%の大幅な増加、前月比では13,800台、8.55%の減少となった。

インター別の内訳を見ると、全てのインターにおいて入口・出口ともに前年同月比で大幅に増加したが、前月比では大幅に減少している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	350,746	5.90	2.52	145,421	3.32	0.16
平 残	344,465	6.02	1.38	142,284	3.11	0.07

預金は、末残が前年同月比で19,567百万円、5.90%の増加、前月比でも8,629百万円、2.52%の増加となっている。また、平残においても前年同月比で19,587百万円、6.02%の増加、前月比でも4,717百万円、1.38%の増加となっており、引き続き末残、平残ともに堅調に推移している。

一方、貸出金においても、末残が前年同月比で4,674百万円、3.32%の増加、前月比でも243百万円、0.16%の増加となり、平残も前年同月比で4,299百万円、3.11%の増加、前月比でも114百万円、0.07%と増加しており、預金と同様に末残、平残ともに堅調な推移を示している。

8. 市内手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	4,943	-10.93	-6.78
交 換 金 額	3,552	-16.18	-17.39
不 渡 り 手 形 枚 数	0	-100.00	0.00
不 渡 り 手 形 金 額	0	-100.00	0.00

(資料出所：柏崎手形交換所)

柏崎手形交換所における手形交換高は、12月末日にかけての連休から、交換枚数が前年同月比で607枚、10.93%の減少、前月比でも360枚、6.78%と減少している。また、交換金額においても、前年同月比で686百万円、16.18%、前月比でも748百万円、17.39%といずれも2桁台の減少率を示している。なお、不渡手形は引き続き発生しておらず、前年同月比で11枚、43百万円の減少となっている。

12月の法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産は7件（前年同月4件、前月2件）、負債総額15億円（同23億円、同39億円）、1件当たりの負債額2億円（同5億円、同19億円）となった。

地区別では下越地区で5件（新潟市2件、新発田市1件、胎内市2件）、中越地区で1件（南蒲原郡1件）、上越地区で1件（糸魚川市1件）発生している。業種別は建設業4件、製造業2件、サービス業・その他1件で、倒産原因別の状況は販売不振5件、売掛金回収難1件、その他1件となっている。

当月の企業倒産は7件、負債総額で15億円と前年同月比では件数で3件増加したものの、負債総額では8億円減少している。なお、大型倒産（負債総額10億円以上）は発生していない。

企業を取り巻く経営環境は、原油などの素材価格の高騰も深刻な影響を与えており、売上が伸び悩んでいる小規模企業においては資金繰りも楽観できない状況にあり、今後の倒産動向も増加基調を辿る可能性が予想される。